

実施設計図書

令和8年度妙高戸隠連山国立公園妙高高原ビジターセンターエントランス改修工事

令和8年6月

環境省中部地方環境事務所 信越自然環境事務所

工事場所	新潟県妙高市関川2248-4				公園名称	妙高戸隠連山国立公園	
発注機関	中部地方環境事務所 信越自然環境事務所						
審査	課長	補佐	専門官	担当者	設計者	名称	(有)金箱構造設計事務所
						資格者氏名	金箱 温春
						登録番号	一般建築士 大臣登録 第122854号
						所在地	一般建築士事務所 東京都知事登録 第36591号

図面番号	図面名称	縮尺 (A3)	図面番号	図面名称	縮尺 (A3)
A00	妙高VC庇 図面リスト	-	2S01	構造特記仕様書	-
A01	妙高VC庇 特記仕様書 1	-	2S02	RC標準図(1)	-
A02	妙高VC庇 特記仕様書 2	-	2S03	RC標準図(2)	-
A03	妙高VC庇 特記仕様書 3	-	2S04	RC標準図(3)	-
A04	妙高VC庇 特記仕様書 4	-	2S05	木標準図(1)	-
A05	妙高VC庇 特記仕様書 5	-	2S06	木標準図(2)	-
A06	妙高VC庇 特記仕様書 6	-	2S07	妙高VC庇 伏図(1)	1 / 50
A07	妙高VC庇 特記仕様書 7	-	2S08	妙高VC庇 伏図(2)	1 / 50
A08	妙高VC庇 工事区分表	-	2S09	妙高VC庇 軸組図(1)	1 / 50
A09	妙高VC庇 仮設計画	-	2S10	妙高VC庇 軸組図(2)	1 / 50
A10	妙高VC庇 計画概要 案内図 配置図	-	2S11	妙高VC庇 断面表	1 / 60
A11	妙高VC庇 求積図 仕上表	-			
A12	妙高VC庇 改修前後既存矩計図	1 / 50	E-01	妙高VC庇 改修後伝統設備図	1 / 50
A13	妙高VC庇 矩計図	1 / 30			
A14	妙高VC庇 立面図	1 / 60			
A15	妙高VC庇 展開図	1 / 60			
A16	妙高VC庇 屋根伏図 天井伏図	1 / 50			
A17	妙高VC庇 外構図	1 / 300			
A18	妙高VC庇 既存部分詳細図	図示			

工事名称	令和8年度妙高戸隠連山国立公園妙高高原ビジターセンターエントランス改修工事		
工事場所	新潟県妙高市関川2248-4	図面名称	図面リスト
発注機関	中部地方環境事務所 信越自然環境事務所	縮 尺	-
公園名称	妙高戸隠連山国立公園	図面番号	A00
検 査	設計者 名	(有)金箱構造設計事務所	
	資格者氏名	金箱 温春	
	登録番号	一級建築士 第122854号 大臣登録	
	所在地	一級建築士事務所 東京都知事登録 第36591号	

妙高戸隠連山国立公園いもり池博物館展示施設改修 工事設計図	
特記仕様書	
I 工事概要	
1. 工事場所	新潟県妙高市関川2248-4
2. 敷地面積	2,969.31㎡
3. 工事種目	1. エントランス庇増築及び既存建物改修 増築木造1階建及び既存改修 一式 増築建築面積 計画建物18.23㎡ (既存 建築面積: 1038.05㎡) 増築延べ床面積 計画建物0.00㎡ (既存 延べ面積: 840.58㎡)
2. 上記に伴う、電気設備工事	一式
3. 上記に伴う、外構整備	一式
4. 指定部分	有・無 対象部分 () 指定部分工期 年 月 日
5. 工事範囲	●「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。 ・「3. 工事種目」のうち _____ の工事範囲は下記表のとおりとする。 ただし、他の工事種目はすべて今回工事範囲とする。
2. 仮設工事	すべて
3. 土工	
4. 地業工事	
5. 鉄筋工事	
6. コンクリート工事	
7. 鉄骨工事	
8. コンクリート・ALCパネル 押出成形型枠工事	
9. 防水工事	
10. 石工事	
11. タイル工事	
12. 木工	
13. 屋根及びとい工事	
14. 金属工事	
15. 左官工事	
16. 建具工事	
17. カーテンウォール工事	
18. 塗装工事	
19. 内装工事	
20. ユニツト及びその他の工事	
II. 建築工事仕様	
(1) 図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、○を付けたものを適用する。 ○公共建築工事標準仕様書(建築工編) 令和4年版(以下、「標準仕様書」という。) ○建築工事標準詳細図(令和4年版) (以下、「標準詳細図」という。) ・建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)	
(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事は、それぞれの工事特記仕様書を適用する。	
(3) 本特記仕様書の表記 1) 項目は、○印の付いたものを適用する。 2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、●印の付いたものを適用する。 ○印と●印の付いた場合は、共に適用する。 3) 特記事項に記載の()内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 4) G印は、「国等による環境物品等の調達推進に関する法律」(平成12年法律第100号)に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(令和4年2月25日変更閣議決定)」に定める特定調達物品における判断の基準(特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごとの判断の基準)を満たすものとする。	

III. 現場及び技術に係わる事項 (1) 情報共有システム ●本工事は、情報共有システム利用対象工事である。 詳細は「自然公園等整備工事及び業務の情報共有システム運用要領(案)」による。 ・本工事は、情報共有システム対象外工事である。	
III. 現場及び技術に係わる事項 (1) 情報共有システム ●本工事は、情報共有システム利用対象工事である。 詳細は「自然公園等整備工事及び業務の情報共有システム運用要領(案)」による。 ・本工事は、情報共有システム対象外工事である。	
○ 適用区分 ・建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ・風圧力 風速 (V ₀ = 30m/s) 地表面粗度区分(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ) ・積雪荷重 平成12年6月31日 建設省告示第1455号における区域 別表(三十)	
○ 環境への配慮 (1.4.1) (1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ①合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生量が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ②接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③接着剤は、可塑性(フタル酸ジエチル及びフタル酸ジエチルヘキシル等を含む可塑性の可塑性を除く)が追加されていない材料を使用する。 ④①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生量が極めて少ない材料を使用したものとする。 (2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。 ①建築基準法施行令第20条の第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第20条の第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③建築基準法施行令第20条の第3項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ④建築基準法施行令第20条の第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料	
○ 材料の品質等 (1.4.2) (1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 (2) 備欄に商品名が記載された材料は、同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。 (3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 (4) 本工事に使用する材料のうち、(5)に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料(外部機関が発行する証明書の写し等)を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 ①品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。 (5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料	
室内空気中の化学物質の濃度測定 (1.5.9) (1) 室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、測定結果を監督職員に報告する。 (2) 測定対象室及び測定箇所数は2箇所()。 (3) 測定は、パッシブ型採集機器により行う。 (4) 測定方法及び測定結果の報告は、現場説明書による。	
○ 完成写真 工事完成時に次の写真を撮影し、監督職員に提出する。 撮影部位及び箇所数 形式・サイズ 提出セット数 画像数、画質等 撮影者 外観正面1箇所 カラー印刷紙キャビネ判 カラー印刷紙キャビネ判 A4アルバム縦じ 1 4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったものの撮影者 上記と異なる外部()箇所 内部()箇所 カラー印刷紙キャビネ判 カラー印刷紙キャビネ判 A4アルバム縦じ 電子データ(JPEGフルカラー・圧縮率1/4程度) カラー木製パネル半切(324×400mm) 1 1280×960ピクセル以上かつ、撮影したデジタルカメラの設定のうち最高の画質 注：●のアルバムは併せて作成する。	
○ 他工事又は他工種との取合い ○ 工事区分表による。これにより難い場合は監督職員と協議する。 ○ 増築建物の着工時に、既存建物との断面関係についてレーザー実測を行い、増築建物と既存建物の位置関係を確認し、それぞれの関係が把握できる断面図を作成した上で監督職員に報告すること。	

○ 足場その他 (2.2.4) 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の樹立等に関する基準」における2(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。	
○ 埋戻し及び盛土 (3.2.3) 材料及び工法 ●表3.2.1による 種別 ・A種 適用場所() ・B種 適用場所() ・C種 適用場所()土質() 受渡場所() ・D種 適用場所() 品質細粒分(75µm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする。 ・材料() 工法()	
○ 建設発生の処理 (3.2.5) ●現場説明書による ・構内指示の場所に堆積 ・構内指示の場所に敷き均し ○関係法令等に従い、適切に処理する公の関与する埋立地に撤出するものとする。	
・山留めの撤去 (3.3.3) 鋼矢板等の抜き後の処理 ●直ちに砂等で充填する 山留めの位置 ・行う (在置範囲 ●図示)	
4 7 特記仕様書(構造関係)による 4章 地業工事 5章 鉄筋工事 6章 コンクリート工事 7章 鉄骨工事	
8 コンクリートブロック ALCパネル 押出成形セメント板工事 補強コンクリートブロック造 (8.2.2、3、5、7、8) ブロックの種類 (8.2.2) 断面形状及び圧縮強さによる区分 正味厚さ(mm) 呼び寸法(mm) 長さ 高さ 化粧の有無 適用箇所 備考 ・無・有 ・無・有 モルタルの割合(容積比) (8.2.3) ・セメント() : 砂() 各部の配筋 (8.2.5) ●図示による() 目地仕上げ ・押し目地仕上げ ・化粧目地仕上げ まくさを受ける開口部両側のブロックのモルタル又はコンクリートで充填する範囲 ●図示による()	
コンクリートブロック帳壁及びび ALCパネル ALCパネルの区分等 (8.4.2~5) 区分 単位荷重(N/m ²) 厚さ(mm) 幅及び長さ 耐火性能(時間) 構造の種別 ・外壁用 一般 平 急庇 1 1 1 1 ・間仕切壁用 一般 平 急庇 1 1 1 1 ・屋根用 1 1 1 1 0.5 ・床用 1 1 1 1 2 パネルの相互の接合部に挿入する耐火目地材 外壁、屋根パネルの構法 1章 適用区分による風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の耐風圧性能 外壁パネル構法及び間仕切壁パネル構法における耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合 ●図示による 目地幅(mm) (パネル短辺小口相互の接合部、外壁、間仕切壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部) ●10~20 外壁、間仕切壁パネルの伸縮目地への耐火目地材の充填 ●適用する ●適用しない	
押出成形セメント板(ECP) パネルの種類 形状 厚さ(mm) 幅(mm) 工法の種別 備考 ・外壁パネル F 50・60 ●600 A種 D 50・60 60 B種 T 60 ・間仕切壁パネル F 50・60 ●600 B種 D 50・60 60 C種 T 60 外壁パネルの工法における耐風圧性能 1章 適用区分における風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の耐風圧性能 外壁パネル工法及び間仕切壁パネル工法における耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合 ●図示による パネル相互の目地幅(mm) ●長辺()、短辺() 出隅及び入隅のパネル接合部目地の目地幅(mm) ●15程度 耐火構造以外の目地及び間隙の処理 ●/パネルの製造所の仕様 むむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とし、欠損部分を考慮した強度を確認した資料を提出する。	

9 防水工事 ・アスファルト防水 (9.2.2~5)表(9.2.3~9)	
屋根保護防水 防水層の種別 種別 施工箇所 断熱材 G 絶縁用シート ・A-1 ・A-2 ・A-3 ・B-1 ・B-2 ・AI-1 ・AI-2 ・AI-3 ・BI-1 ・BI-2 ●トリソノフタA 厚さ0.15mm以上又は70g/m ² 程度 ●70g/m ² 程度 (材質) ●JIS A 9521に基づく押出法Aトリソノフタ断熱材 ●70g/m ² 程度 3種bA(スキン層付き) (厚さ) (mm)	
改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ●標準仕様書表9.2.3及び表9.2.4による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ●R種 厚さ() mm以上 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ●標準仕様書表9.2.5及び表9.2.6による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ●R種 厚さ() mm以上 立上り部の断熱材及び絶縁シート ●設置しない ●設置する 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ●水下 80mm以上 床タイル張り ●水下 60mm以上 立上り部の保護工法 ・乾式保護材(品質・性能、試験方法は別表による) ・作業系パネル類 厚さ() mm 幅() mm ・ねんが押え(●JIS R 1250) ・コンクリート押え ・モルタル押え(屋内)	
屋根露出防水 防水層の種別 種別 施工箇所 断熱材 G 仕上塗料の種類 使用量 高日射反射率 防水の適用 G ・D-1 ・D-2 ・DI-1 ・DI-2 標準仕様書9.2.2(9)(種類) (厚さ) (mm) ●図示による	
改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ●標準仕様書表9.2.8による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 ●R種 厚さ() mm以上 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ●標準仕様書表9.2.7及び表9.2.8による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 ●R種 厚さ() mm以上 絶縁断熱工法のルーフトン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ●図示による 絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ●アスファルトルーフィング類の製造所の指定 設置数量 ●個 ●アスファルトルーフィング類の製造所の指定	
屋内防水 防水層の種別 種別 施工箇所 種別 施工箇所 ・E-1 ・E-2 保護層 ●設ける(●図示による) ●設けない E-1の工程3を行う部位 ●貯水槽、浴槽等常時水に接する部位 防水層の下地の立上り ●コンクリート打直し仕上げ 標準仕様書6.2.4打直し仕上げ種別のB種 立上り部の押え金物の材質及び形状寸法 ●アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 防水層の下地のモルタル塗り ●適用する(施工範囲 ●図示による) ●適用しない 屋根排水溝 ●図示による	
工事名称 令和8年度妙高戸隠連山国立公園妙高高原ビジターセンターエントランス改修工事	
工事場所 新潟県妙高市関川2248-4	図面名称 妙高VC庇特記仕様書1
発注機関 中部地方環境事務所 信越自然環境事務所	縮尺
公園名称 妙高戸隠連山国立公園	図面番号 A01
設計者名 称 (有)金箱構造設計事務所	
資格者氏名 金箱 温春	
登録番号 第一級建築士 第122854号	
所在地 第一級建築士事務所 東京都港区豊島 第36591号	

Table with 10 columns: 造作用集成材 G, 集材材の日本農林規格, 施工箇所, 品名, 樹種名, 寸法(mm), 見付け材面, 見付け材面の品質, 間伐材等の適用. Includes sections for 化粧薄板, 接合具等, 接着剤, 防腐・防蟻処理, 造作用単板積層材 G, 合板等, 合板の日本農林規格, 合板の日本農林規格, 合板の日本農林規格, 合板の日本農林規格.

Table with 10 columns: パーティクルボード G, 施工箇所, 表面の状態による区分, 曲げ強さによる区分, 耐水性による区分, 難燃性による区分, 厚さ(mm). Includes sections for 接合具等, 接着剤, 防腐・防蟻処理, 内部間仕切軸組及び床組み, 窓、出入口その他, 床板張り, 壁及び天井下地, 長尺金属板葺, 折板葺.

Table with 10 columns: 粘土瓦葺, 施工箇所, 種類, 製法による区分, 形状による区分, 寸法による区分, 産地, 役物瓦の種類, 止め瓦. Includes sections for とい, アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理, 鉄鋼の亜鉛めっき, 軽量鉄骨天井下地, 軽量鉄骨壁下地, 金属成形板張り.

Table with 10 columns: アルミニウム製笠木, 種類, 表面処理, 色合い等, 標準色, 特注色. Includes sections for モルタル塗り, ラス系下地, セっこうボード, こまい下地, 木ずり下地, 仕上塗材仕上げ, 仕上塗材の種類, 薄付け仕上塗材, 復層仕上塗材, 軽量骨材仕上塗材, マスチック塗料塗り, ロックワール取付け, しっくい塗り, 下地, 既調合しっくいの場合, 現場調合しっくいの場合, 検査.

こまい壁塗り (15.11.2~5, 7, 9)
のり
・土壁用ののり
・砂壁用ののり
色土
・土物仕上げに用いる色土の種類
・大津仕上げに用いる色土の種類
色砂の種類
・天然砂と岩石の砕砂
・人工的に着色・製造したもの
下塗りの調合
※標準仕様書表15.11.2
塗厚
※標準仕様書表15.11.8による
・建築基準法に基づく耐力値の指定がある場合
こまい工程
こまい壁塗りの上塗りとする土物仕上げの工法の種類
・土物仕上げ工法
・水こね土物1工法
・水こね土物2工法
・のりさし土物工法
・砂壁仕上げ工法
・切返し仕上げ工法
こまい壁塗りの上塗りとする大津仕上げの工法の種類
・普通大津仕上げ工法
・大津みがき仕上げ工法
ちりゃくり
・図示による

防火戸 (16.1.3)
見本の製作等 (16.1.4)
防犯建物部品 (16.1.6)
アルミニウム製建具 (16.2.2, 4, 5) (表14.2.1) (表16.2.1, 2)
性能等級
耐風圧性の等級
気密性の等級
水密性の等級
外部に面する建具の種類
防音ドア、防音サッシ
断熱ドア、断熱サッシ
材料
ステンレス鋼板
形状及び仕上げ
表面処理
屋内部の建具
結露水の処理方法
工法

網戸等 (16.2.3)
Table with 4 columns: 種類, 材種, 線径, 網目
・防虫網
・防鳥網

樹脂製建具 (16.2.5) (16.3.2~5) (表16.3.1~3)
性能等級
耐風圧性の等級
気密性の等級
水密性の等級
外部に面する建具の種類
防音ドア、防音サッシ
断熱ドア、断熱サッシ
外部に面する建具の日射熱取得性の等級
材料
ガラス
ステンレス製のくつずりの仕上げ
形状及び仕上げ
表面色
工法

鋼製建具 (16.2.2) (16.4.2~4) (表16.4.6) (表16.4.2)
性能等級
簡易気密型ドアセット
外部に面する建具の耐風圧性
防音ドア、防音サッシ
断熱ドア、断熱サッシ
耐震性能
材質
ステンレス鋼板
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ
標準型鋼製建具の形式及び寸法

鋼製軽量建具 (16.2.2) (16.5.2~4) (16.5.6) (表16.5.1)
性能等級
簡易気密型ドアセット
防音ドア、防音サッシ
断熱ドア、断熱サッシ
耐震性能
材質
ステンレス鋼板
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ
標準型鋼製建具の形式及び寸法

ステンレス製建具 (16.2.2) (16.4.2) (16.6.2~5)
性能等級
簡易気密型ドアセット
外部に面する建具の耐風圧性
防音ドア、防音サッシ
断熱ドア、断熱サッシ
耐震性能
材質
ステンレス鋼板
形状及び仕上げ
表面仕上げ
工法

木製建具 (16.7.2~4)
建具材の加工、組立時の含水率
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放数量
表面材の合板の種類

Table with 3 columns: 合板の種類, 規格等, 備考
・普通合板
・天然木化粧合板
・特殊加工化粧合板
・MDF

建具用金物 (16.8.2, 3) (表16.8.1~5)
表面板の厚さ
引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用
かまち戸
かまち樹種
見込み寸法
ふすま
張りの種別
上張り
緑仕上げ
見込み寸法
枠、くつずりの材料

金物の種類及び見え掛り部の材質等
金物製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
木製建具に使用する戸車及びレール
握り玉及びレバー・ハンドル、押板類、クレセントの取付け位置
シリンダ箱錠及びシリンダ本締めり錠
クローザー類

鍵 (16.8.4)
マスターキー
鍵の製作本数
鍵箱
自動ドア開閉装置 (16.9.2, 3)
戸の開閉方式
引き戸用駆動装置
性能値
車椅子使用者便房出入り口引き戸用駆動装置
性能値
引き戸用検出装置
性能値
引き戸用検出装置の種類
タッチスイッチの種類
車椅子使用者便房スイッチの種類
凍結防止措置

自閉式上吊り引戸装置 (16.10.3) (表16.10.1)
性能値等
・手動開き力
・手動閉じ力
・閉じ速度の調整
・制動区間
・開閉繰返し
・耐衝撃性
シャッターの種類
シャッターの種類
シャッターの種類
シャッターの種類
シャッターの種類
シャッターの種類

重量シャッター (16.11.2, 3)
シャッターの種類
シャッターの種類
シャッターの種類
シャッターの種類
シャッターの種類
シャッターの種類

軽量シャッター (16.12.2~4)
開閉形式の種類
耐風圧強度
電動シャッターの障害物感知装置
スラットの材質の種類
めっき付着量
ガイドレール、まくらぎ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチ
ボックス類のふたの材質
ステンレス鋼板
スラットの形状

オーバーヘッドドア (16.13.2, 3)
セクション材料による区分
耐風圧による強さの区分
開閉方式による区分
収納形式による区分
ガイドレールの材料
電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置
フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類
型板ガラスの厚さによる種類
網入板ガラス及び網入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類
合わせガラス
落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類
強化ガラス
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類

ガラス (9.7) (16.14.2~4) (表16.14.1)
フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類
型板ガラスの厚さによる種類
網入板ガラス及び網入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類
合わせガラス
落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類
強化ガラス
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類

熱線吸収ガラス
板ガラスによる種類、厚さによる種類
性能による種類
復層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに復層ガラスの厚さ
断熱性による区分
日射取得性、日射遮蔽性による区分
乾燥気体の種類
熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
日射熱遮へい性による区分
耐久性による区分
倍強度ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類

Table with 3 columns: 建具の種類, ガラス留め材の種別, ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製
鋼製及び鋼製軽量
ステンレス製
樹脂製

耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

Table with 6 columns: 呼び寸法 (mm), 厚さ (mm), 色調, 目地幅(mm), 伸縮調整目地位置 (mm), 防火性能
160x160
200x200

壁用金属枠及び補強材
力骨 材質
寸法
形状
化粧目地モルタルの色
シーリングの種類
金属強化靴カバー
木下地の場合のアンカー等の取付け間隔
目地部の横力骨の納まり
工法

取付形態、性能等 (17.1.3)
取付け形態による分類
性能
水密性
気密性
遮音性
断熱性
耐火性能
耐温度差性

耐風圧性
主要部材の耐風圧性能 (ガラスを除く)
支点間距離
4m以下
4mを超える
耐振性能
性能の確認方法及び判定方法

Table with 2 columns: 工事名称, 工事場所, 発注機関, 公園名称, 検査
令和8年度妙高戸隠連山国立公園妙高高原ビジターセンターエントランス改修工事
新潟県妙高市関川2248-4
中部地方環境事務所 信越自然環境事務所
妙高戸隠連山国立公園
(有)金箱構造設計事務所

22 舗装 工事	<ul style="list-style-type: none"> 街きよ、緑石及び側溝 	<p>(21.3.1、2)(表21.3.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>形状、寸法</th> </tr> <tr> <td>・緑石</td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td>・L形側溝</td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td>・U形側溝</td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td>・U形側溝ふた</td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・図示による</td> </tr> </table> <p>砂地業に用いる材料 ・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂</p> <p>砂利地業に用いる材料 ・再生クラッシュラン.G ・切込砂利又は切込砕石</p> <p>砂利地業の厚さ(mm) ※100 図示による ・現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度 (N/mm²) ※18 ・スランプ (cm) ※15又は18 ・現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※SD295</p> <p>凍上抑制層に用いる材料 (砂を用いる場合の粒度試験) ・行う ・行わない</p>	種類	形状、寸法	・緑石	・図示による	・L形側溝	・図示による	・U形側溝	・図示による	・U形側溝ふた	・図示による	・	・図示による	<ul style="list-style-type: none"> 透水性アスファルト舗装 	<p>(22.7.2、3、6)</p> <p>舗装の構成 ・図示による</p> <p>材料 骨材 ・道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材.G (標準仕様書表22.4.1による種類: ・60~80 ・80~100)</p> <p>舗装の平坦性 ※著しい不陸がないもの</p> <p>試験 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない</p>	<ul style="list-style-type: none"> 幹巻き用材料 	<p>(23.3.2)</p> <p>材料 ※幹巻き用テープ ・わら及びこも</p>																																																	
	種類	形状、寸法																																																																	
・緑石	・図示による																																																																		
・L形側溝	・図示による																																																																		
・U形側溝	・図示による																																																																		
・U形側溝ふた	・図示による																																																																		
・	・図示による																																																																		
<ul style="list-style-type: none"> 埋戻し土 	<p>(21.2.1)</p> <p>※B種</p>	<ul style="list-style-type: none"> ブロック系舗装 	<p>(22.8.2、3)</p> <p>・コンクリート平板舗装.G</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>目地材</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※普通平板(N)</td> <td>・300角</td> <td>※60</td> <td>※砂</td> <td>表面加工</td> </tr> <tr> <td>・透水平板(P)</td> <td></td> <td></td> <td>・珪砂</td> <td>・研ぎ出し</td> </tr> <tr> <td>・保水性平板(M)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・洗い出し</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・たたき出し</td> </tr> </tbody> </table> <p>クッション材 ※砂 ・空練りモルタル</p> <p>普通平板は.G(再生材1科を用いた舗装用ブロック)、透水平板は.G(透水性コンクリート)とする。</p> <p>仕上り面の平坦性 ※歩行に支障となる段差がないものとし、歩石間の段差は3mm以内とする</p> <p>・インターロックングブロック舗装 .G</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>部位</th> <th>形状寸法</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>曲げ強度(N/mm²)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※普通ブロック (N)</td> <td rowspan="3">車路</td> <td rowspan="3">・図示による</td> <td rowspan="3">※80</td> <td rowspan="3">※5.0</td> <td rowspan="3">表面加工</td> </tr> <tr> <td>・透水性ブロック (P)</td> </tr> <tr> <td>・保水性ブロック (M)</td> </tr> <tr> <td>※普通ブロック (N)</td> <td rowspan="3">歩行者用通路</td> <td rowspan="3">・図示による</td> <td rowspan="3">※60</td> <td rowspan="3">※3.0</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>・透水性ブロック (P)</td> </tr> <tr> <td>・保水性ブロック (M)</td> </tr> </tbody> </table> <p>クッション材 ※砂 ・空練りモルタル</p> <p>歩行者用通路に使用する普通ブロックは.G(再生材を用いた舗装用ブロック)、透水性ブロックは.G(透水性コンクリート)とする。</p> <p>仕上り面の平坦性 ※歩行に支障となる段差がないものとし、インターロックングブロック間の段差は3mm以内とする</p> <p>・舗石舗装</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>形状寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>張り方</th> <th>基層</th> <th>基層の厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・花こう岩</td> <td rowspan="2">・割石 ・図示による</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td>・コンクリート平板</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・777珪混合物</td> <td>※50</td> </tr> </tbody> </table> <p>クッション材 ※砂 ・空練りモルタル</p> <p>仕上り面の平坦性 ※歩行に支障となる段差がないものとし、舗石間の段差は3mm以内とする</p> <p>・ジオテキスタイル</p> <p>単位面積質量 ・60g/m²以上 厚さ(mm) ・0.5~1.0 引張強さ ・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水係数 ・1.5x10 cm/sec以上</p> <p>試験 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・行う ・行わない 路床締固め度の試験 ・行う ・行わない 現場CBR試験 ・行う ・行わない</p>	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備考	※普通平板(N)	・300角	※60	※砂	表面加工	・透水平板(P)			・珪砂	・研ぎ出し	・保水性平板(M)				・洗い出し					・たたき出し	種類	部位	形状寸法	厚さ(mm)	曲げ強度(N/mm ²)	備考	※普通ブロック (N)	車路	・図示による	※80	※5.0	表面加工	・透水性ブロック (P)	・保水性ブロック (M)	※普通ブロック (N)	歩行者用通路	・図示による	※60	※3.0		・透水性ブロック (P)	・保水性ブロック (M)	種類	形状寸法(mm)	厚さ(mm)	張り方	基層	基層の厚さ(mm)	・花こう岩	・割石 ・図示による			・コンクリート平板	※70		・777珪混合物	※50	<ul style="list-style-type: none"> 新植、芝等の枯保、移植樹木の枯損処置 	<p>(23.3.4、6) (23.4.7) (23.5.5)</p> <p>新植樹木 (芝張り、吹付けは種及び地被類を含む) の枯補償の期間 ※引渡しの日から1年 ・無し 移植樹木の枯損処置を行う期間 ※引渡しの日から1年 ・無し</p>
種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備考																																																															
※普通平板(N)	・300角	※60	※砂	表面加工																																																															
・透水平板(P)			・珪砂	・研ぎ出し																																																															
・保水性平板(M)				・洗い出し																																																															
				・たたき出し																																																															
種類	部位	形状寸法	厚さ(mm)	曲げ強度(N/mm ²)	備考																																																														
※普通ブロック (N)	車路	・図示による	※80	※5.0	表面加工																																																														
・透水性ブロック (P)																																																																			
・保水性ブロック (M)																																																																			
※普通ブロック (N)	歩行者用通路	・図示による	※60	※3.0																																																															
・透水性ブロック (P)																																																																			
・保水性ブロック (M)																																																																			
種類	形状寸法(mm)	厚さ(mm)	張り方	基層	基層の厚さ(mm)																																																														
・花こう岩	・割石 ・図示による			・コンクリート平板	※70																																																														
				・777珪混合物	※50																																																														
<ul style="list-style-type: none"> 路床 	<p>(22.2.2、3、5)(表22.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・盛土</td> <td>・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土.G</td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td>・凍上抑制層</td> <td>・再生クラッシュラン.G ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂</td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td>・フィルター層</td> <td>標準仕様書22.2.3.(3)による</td> <td>・図示による</td> </tr> </table> <p>(凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験) ・行う ・行わない</p> <p>路床安定処理 安定処理の方法 ・置き換え工法 ・安定処理工法</p> <p>路床安定化処理用添加材料 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種G ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰 (・特号 ・1号) ・消石灰 (・特号 ・1号)</p> <p>添加量 ・ kg/m³ (CBR ・3以上)</p> <p>ジオテキスタイル 単位面積質量 ・60g/m²以上 厚さ(mm) ・0.5~1.0 引張強さ ・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水係数 ・1.5x10 cm/sec以上</p> <p>試験 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・行う ・行わない 路床締固め度の試験 ・行う ・行わない 現場CBR試験 ・行う ・行わない</p>	種類	材料	厚さ(mm)	・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土.G	・図示による	・凍上抑制層	・再生クラッシュラン.G ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂	・図示による	・フィルター層	標準仕様書22.2.3.(3)による	・図示による	<ul style="list-style-type: none"> 砂利敷き 	<p>(22.9.2)</p> <p>種類 ・A種 (施工範囲: ・図示による ・通路) ・B種 (施工範囲: ・図示による ・建物周囲その他)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地上緑化 	<p>(23.5.2~4)</p> <p>植栽基盤及び材料 ・地上緑化システム 土壌層の厚さ ・図示による 排水層 ・軽量骨材 (層の厚さ:) ・板状成型品 植込み用土 ※改良土 ・人工軽量土 樹木、芝及び地被類の樹種並びに種類、寸法、株立数等 ※図示による 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※図示による</p> <p>(品質・性能・試験方法) 支柱 設置する ・設置しない 形式 ・図示による</p> <p>かん水装置 ・図示による</p> <p>工法 「屋根ふき材及び屋外に面する壁の風圧に対する構造耐力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」(平成12年5月31日 建設省告示第1458号)に基づく風圧力に対した工法」 ・図示による</p>																																																		
種類	材料	厚さ(mm)																																																																	
・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土.G	・図示による																																																																	
・凍上抑制層	・再生クラッシュラン.G ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂	・図示による																																																																	
・フィルター層	標準仕様書22.2.3.(3)による	・図示による																																																																	
<ul style="list-style-type: none"> 路盤 	<p>(22.3.2、3)(表22.3.1)</p> <p>路盤の厚さ ○図示による</p> <p>路盤材料 (標準仕様書表22.3.1による種類) ○クラッシュラン ・粒度調整砕石 ○再生クラッシュラン ・再生粒度調整砕石 ・クラッシュラン鉄鋼スラグ ・粒度調整鉄鋼スラグ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 路面標示用塗料 	<p>(22.4.2~6)(表22.4.4)</p> <p>アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示による</p> <p>材料 アスファルト ・再生アスファルト (標準仕様書表22.4.1による種類: ・60~80 ・80~100) ・ストレートアスファルト</p> <p>骨材 ・道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材</p> <p>加熱アスファルト混合物等の種類 ・密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13) ・密粒度アスファルト混合物(13F)</p> <p>舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度</p> <p>試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない</p>	<ul style="list-style-type: none"> 舗石 	<p>(23.1.3)</p> <p>土壌の水素イオン濃度指数 (pH) 試験 ・行う ・行わない 電気伝導度 (EC) の試験 ・行う ・行わない</p>	<ul style="list-style-type: none"> カラー舗装 	<p>(22.6.2~4)</p> <p>○加熱系カラー舗装 構成・厚さ ○図示による 加熱系混合物の結合材 ○アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物 顔料の添加量 (%) 添加剤 着色骨材 () 自然石 () ・常温系カラー舗装 工法 ・ニート工法 (配合その他:) ・塗布工法 (配合その他:) 着色部の下部 ・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装</p> <p>舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度</p>	<ul style="list-style-type: none"> 植栽地の確認等 	<p>(23.2.2、4)</p> <p>樹木の植栽基盤の整備 ・適用する ・適用しない</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>植栽</th> <th>工法</th> <th>有効土層の厚さ (cm)</th> <th>整備範囲</th> <th>土壌改良材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・樹木</td> <td>※A種 ・B種 ・C種 ・D種</td> <td>樹高12m以上 (※100 ・120 ・150) 樹高7m以上~12m未満 (※80 ・100) 樹高3m以上~7m未満 (※60 ・80) 樹高3m未満 (※50 ・60)</td> <td>・築造部分 ・修繕部分 図示による</td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> <tr> <td>・芝、地被類</td> <td>※B種</td> <td>※20</td> <td>・植栽部分 ・図示による</td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>植栽基盤の排水設備 ・設ける (※図示による) ・設けない</p>	植栽	工法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲	土壌改良材	・樹木	※A種 ・B種 ・C種 ・D種	樹高12m以上 (※100 ・120 ・150) 樹高7m以上~12m未満 (※80 ・100) 樹高3m以上~7m未満 (※60 ・80) 樹高3m未満 (※50 ・60)	・築造部分 ・修繕部分 図示による	・適用する ・適用しない	・芝、地被類	※B種	※20	・植栽部分 ・図示による	・適用する ・適用しない																																											
植栽	工法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲	土壌改良材																																																															
・樹木	※A種 ・B種 ・C種 ・D種	樹高12m以上 (※100 ・120 ・150) 樹高7m以上~12m未満 (※80 ・100) 樹高3m以上~7m未満 (※60 ・80) 樹高3m未満 (※50 ・60)	・築造部分 ・修繕部分 図示による	・適用する ・適用しない																																																															
・芝、地被類	※B種	※20	・植栽部分 ・図示による	・適用する ・適用しない																																																															
<ul style="list-style-type: none"> アスファルト舗装 	<p>(22.4.2~6)(表22.4.4)</p> <p>アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示による</p> <p>材料 アスファルト ・再生アスファルト (標準仕様書表22.4.1による種類: ・60~80 ・80~100) ・ストレートアスファルト</p> <p>骨材 ・道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材</p> <p>加熱アスファルト混合物等の種類 ・密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13) ・密粒度アスファルト混合物(13F)</p> <p>舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度</p> <p>試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない</p>	<ul style="list-style-type: none"> 植込み用土 	<p>(23.2.3)</p> <p>・現場発生土の良質土 ・客土</p>	<ul style="list-style-type: none"> コンクリート舗装 	<p>(22.5.2~4、6)(表22.5.1、3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>部位</th> <th>構成</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート舗装</td> <td>車路及び駐車場</td> <td>○図示による</td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td>コンクリート舗装</td> <td>歩行者用通路</td> <td>○図示による</td> <td>※70</td> </tr> </tbody> </table> <p>材料 コンクリート ※普通コンクリート、標準仕様書表22.5.1による ・以下による コンクリートの種類 () 設計基準強度 (N/mm²) () 所定のスランプ (cm) (※8) 粗骨材の最大寸法 (mm) () 早強ポルトランドセメント ・使用する ・使用しない 注入目地材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ</p> <p>目地 ※標準仕様書表22.5.3及び図22.5.1による ・以下による 種類 () 間隔 () m程度ごと 構造 ・図示による</p> <p>舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度</p>	舗装の種類	部位	構成	厚さ(mm)	コンクリート舗装	車路及び駐車場	○図示による	・図示による	コンクリート舗装	歩行者用通路	○図示による	※70	<ul style="list-style-type: none"> 土壌改良材 	<p>(23.2.3)</p> <p>種別及び指定数量等 ・パーク堆肥 .G 施工箇所 ※植栽範囲 ・図示による 使用量 植栽基盤面積1m²あたり (・50L) ・汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト) .G 施工箇所 ※植栽範囲 ・図示による 使用量 植栽基盤面積1m²あたり (・10L)</p> <p>材料 「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第1の基準に適合する原料を使用したもので、植栽試験の調査の結果、害が認められないものとする</p>																																																
舗装の種類	部位	構成	厚さ(mm)																																																																
コンクリート舗装	車路及び駐車場	○図示による	・図示による																																																																
コンクリート舗装	歩行者用通路	○図示による	※70																																																																
<ul style="list-style-type: none"> カラー舗装 	<p>(22.6.2~4)</p> <p>○加熱系カラー舗装 構成・厚さ ○図示による 加熱系混合物の結合材 ○アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物 顔料の添加量 (%) 添加剤 着色骨材 () 自然石 () ・常温系カラー舗装 工法 ・ニート工法 (配合その他:) ・塗布工法 (配合その他:) 着色部の下部 ・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装</p> <p>舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度</p>	<ul style="list-style-type: none"> 樹木 	<p>(23.3.2)</p> <p>樹種、寸法、株立数等 ※図示による</p>	<ul style="list-style-type: none"> 支柱 	<p>(23.3.2、3)</p> <p>支柱材 ※丸太 (間伐材) .G ・真竹 防腐処理方法 ※加圧式防腐処理丸太材 形式 ・図示による</p>																																																														

工事名称	令和8年度妙高戸隠連山国立公園妙高高原ビジターセンターエントランス改修工事		
工事場所	新潟県妙高市関川2248-4	図面名称	妙高VC庇 特記仕様書 7
発注機関	中部地方環境事務所 信越自然環境事務所	縮尺	-
公園名称	妙高戸隠連山国立公園	図面番号	A07
検査	設計者	名称	(有)金箱構造設計事務所
	資格者氏名	金箱 温春	
	登録番号	一級建築士 大臣登録 第122854号 一級造園士事務所 東京都知事登録 第36591号	
	所在地		

